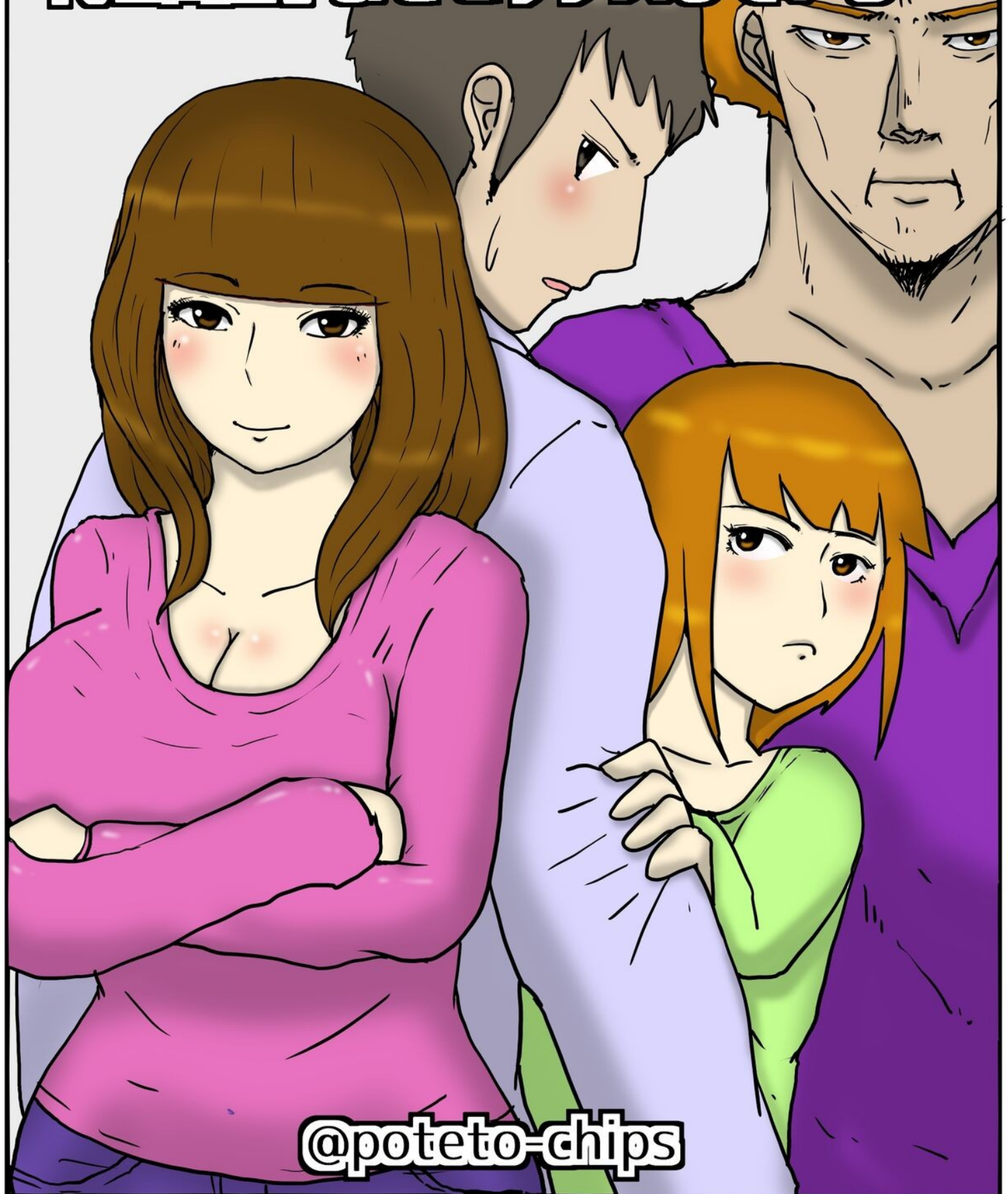


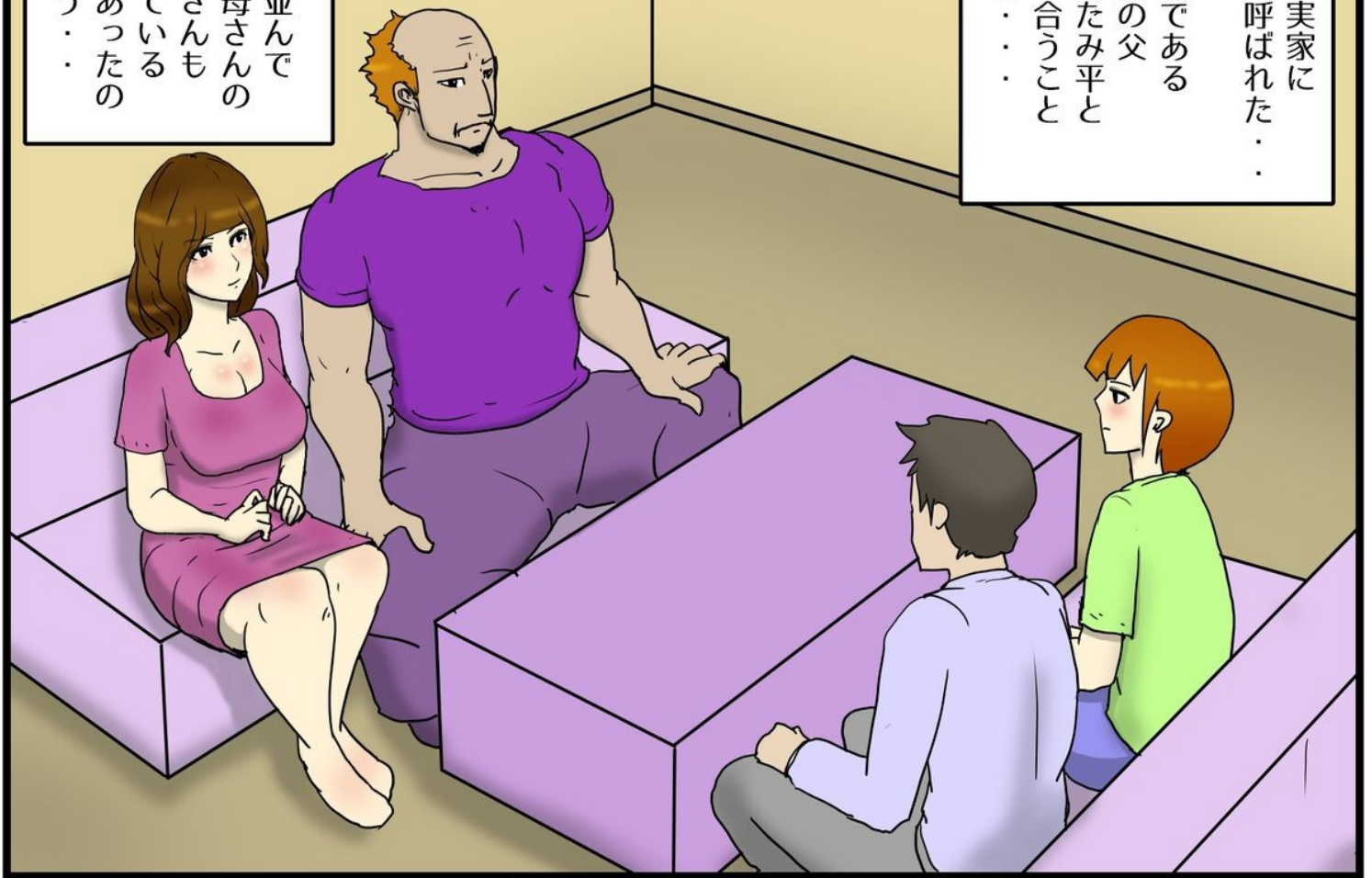
俺は嫁の母親と家族公認の
代理出産孕ませセックスしている



@poteto-chips

嫁の実家に
突然呼ばれた・
家長である
義理の父
石野たみ平と
向き合うこと
5分・・・

横に並んで
お義母さんの
フミさんも
座っている
何かあったの
だろう・・



どうやら
嫁のサナエも
事情はわかって
いるようだ

うん
一応ねー

なんか
聞いてる？

いやー
マサオくん！
今日はわざわざ
すまんねっ

イエイエ
それより
何かありましたか？







君がよければ
さっそく今日から
子作りを始めてくれ
ワシが言うのも
なんじやが
我妻はなかなか
いい女だぞ

じゃ

僕は・・・
妻が、サナエが望むなら
それで構いませんが・・・
サナエ大丈夫なの？

大丈夫なわけないでしょ
でも、正直子供はほしいの・・・
マサオさんと、お母さんの間の
子供なら、愛せると思う・・・

ん？

フワッ...

だから、私も母さんも
覚悟はできてる
マサオさんさえ良かったら
母さんとの間に
子供を作ってほしい・・・

でも、あくまで代理出産の
ためなんだから、絶対に
本気にはならないでほしい

あと、母さん真面目な人だし
キスとか愛撫とかもしないで
なるべく早く終わらせてね

君がそこまで
覚悟しているなら
わかった・・・
引き受けるよ・・・

おんかい...

トキ
トキ

口ではそう言ったものの
内心、興奮が収まらなかった
実は前から義母のことは
気になっており、何回か
オカズにしたこともある・・・

シャワーを浴びた後
奥の客用寢室に呼ばれた
石野家は立派なお屋敷だ
こんな部屋がいくつもある

部屋に入ると
お義母さんが
既にベッドで
仰向けになっていた

ガウンを着て
フェイスシールドで
顔を覆っている…

僕が近づくと
無言でひざを起こした

さっさと入れて
射精しろと
いうことかな？

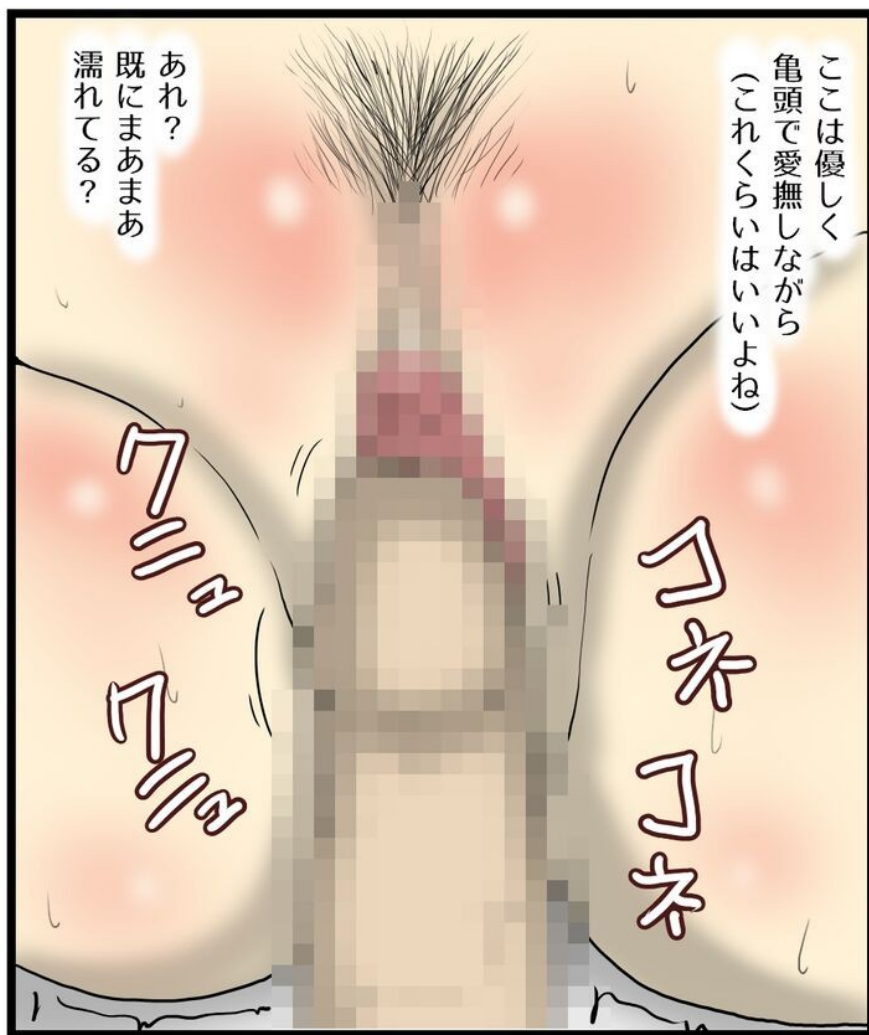
ガウンを開いてもらって
もうちょっとアソコとか
見たりしても良いですか？

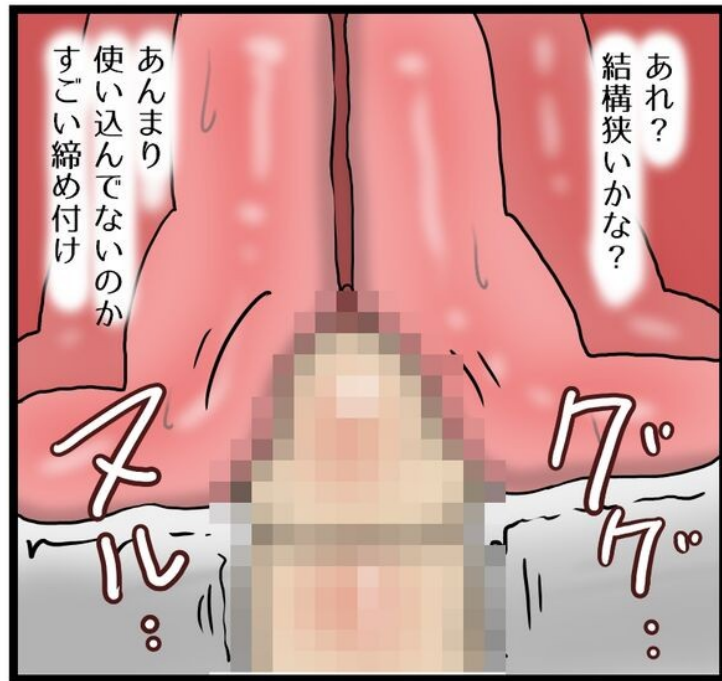
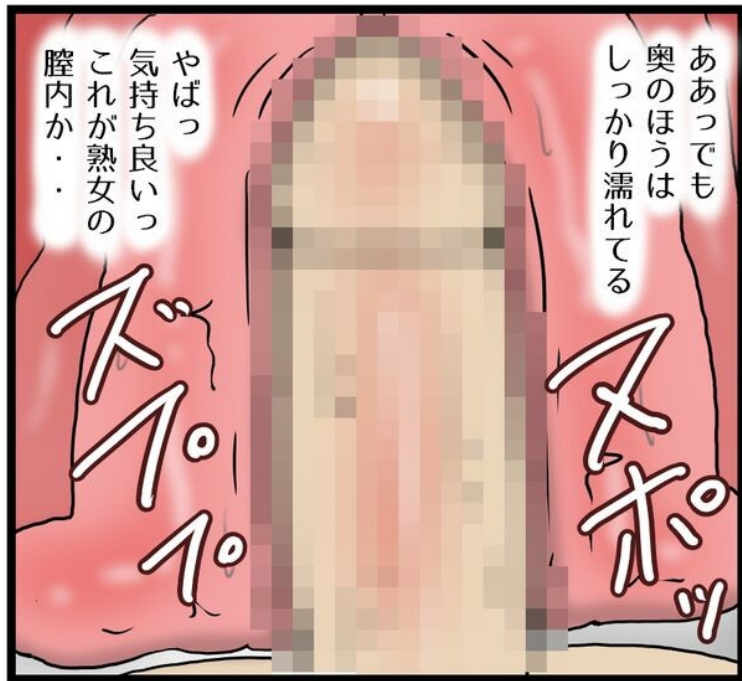
お義母さん、すいません…
緊張でうまく勃起できなくて

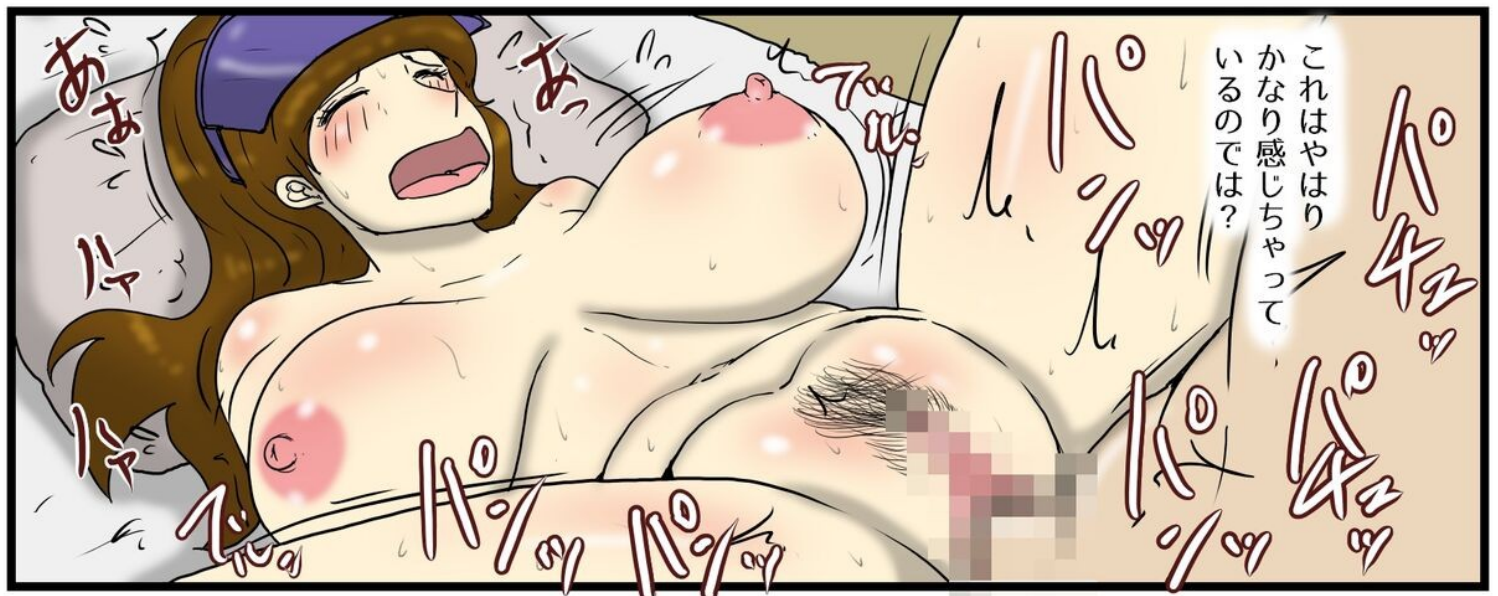
まあ、既にギンギンに
勃起しまくりなんだけど
少しでも楽しみたいよねえ

無言のままだけど…
お願いは聞いて
くれるみたい…

わあキレイなアソコ…
今日のために
ムダ毛もちゃんと
処理したのかな？







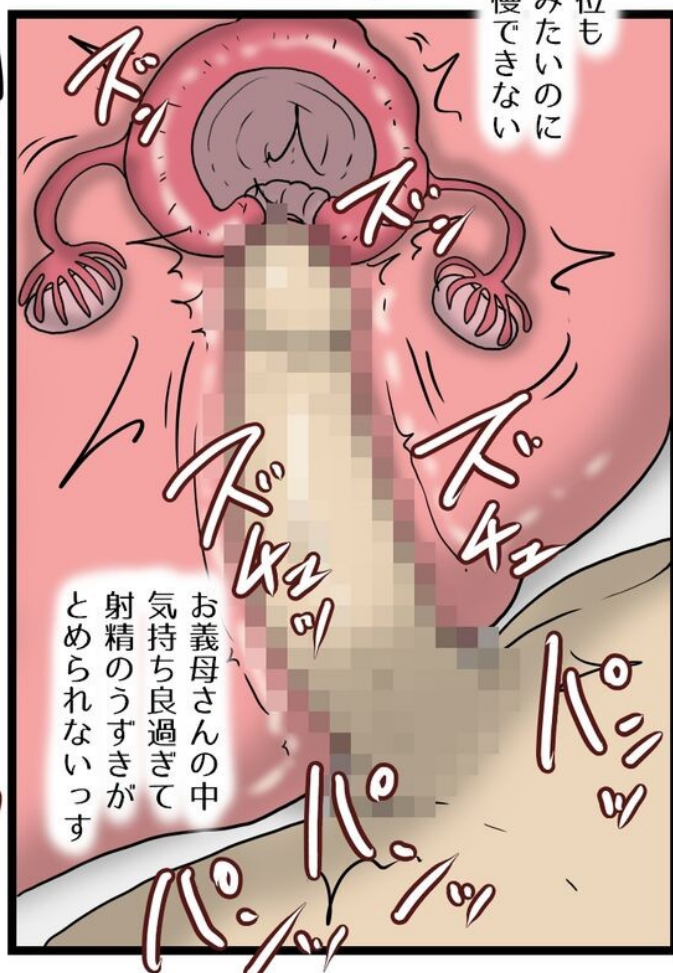


お義母さんっ
そんな可愛い
声でなかれたら
めちやくちゃ
興奮するじゃ
ないですかっ

ああっ
ロースも
フェイスシールド
も取れて
感じて顔が
まる見えで
すよっ

やべっ
他の体位も
やってみたいのに
もう我慢できない

お義母さん
イキますね
一番奥に
いっばい
出しますから



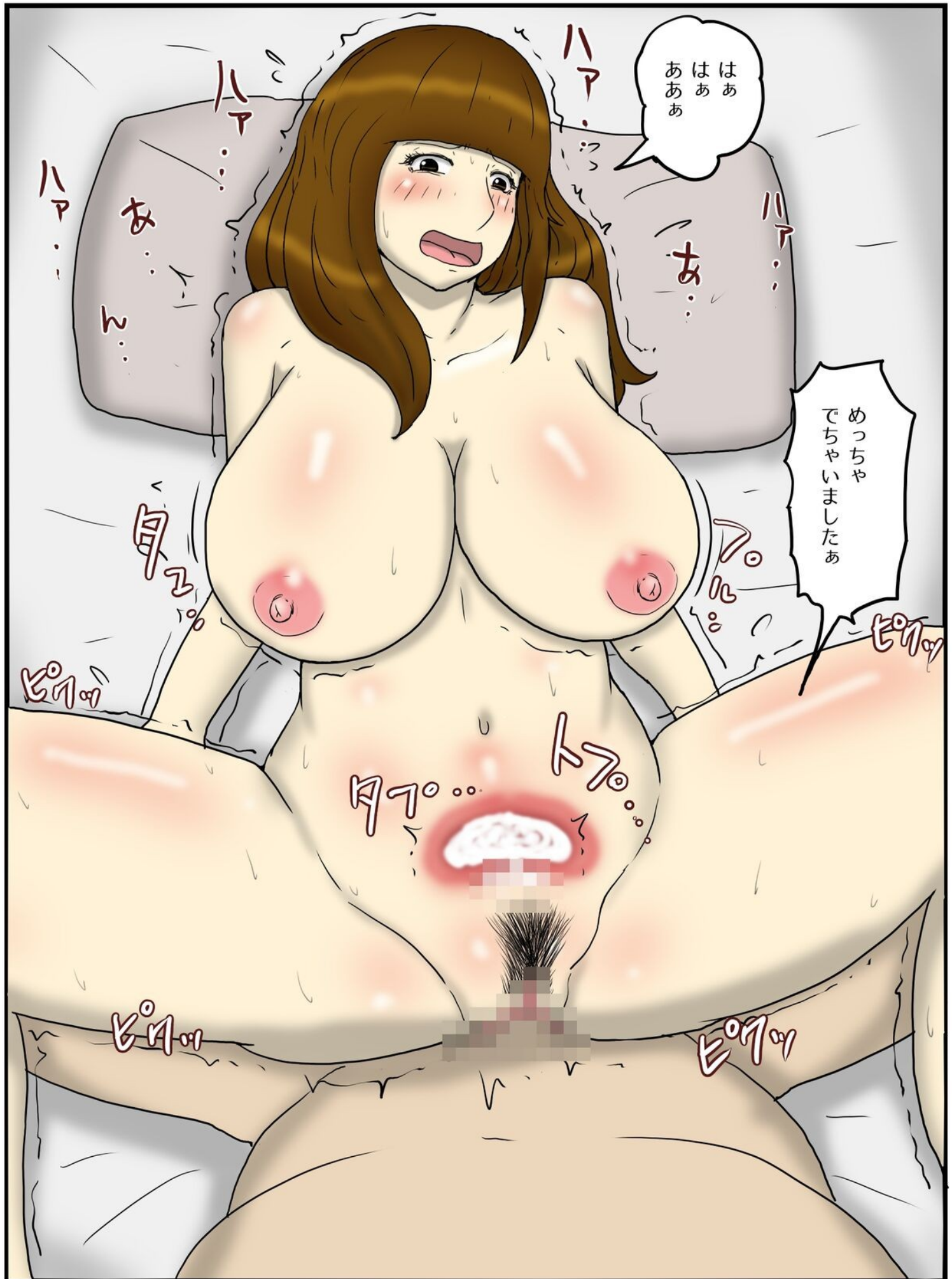
お義母さんの中
気持ち良過ぎて
射精のうずきが
とめられないっす

うわっ
膣のしまりが
さらに良くなって
お義母さんも
一緒にイキそう
なのかな？









それから毎週金曜の夜には、仕事帰りに嫁の実家に寄るようになり

いらっしやい
シャワーあびる？

お義母さんと
家族公認の
子作りセックスを
するようになった。

あ、はい...

ああっ
お義母さんの
抱きごっこ
最高すぎます

いやあ
そんなこと
言わないでえ

2回、3回と
体を重ね
わかったのは
二人の体の相性が
すごく良いらしい
ということだった

嫁と、嫁の父親の前では
二人とも、あくまで義務的な
態度をとっていたが

じゃあ
サナエに
よろしくね

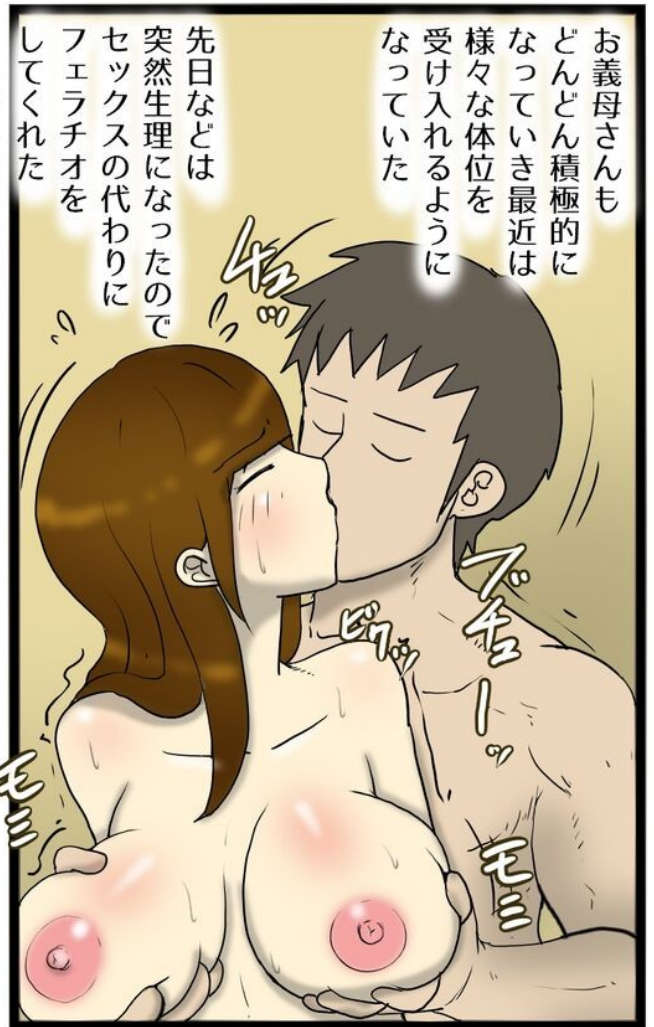
はい
おやすみなさい

嫁との約束も
性欲の前
にいつのまにか
忘れ去られ...

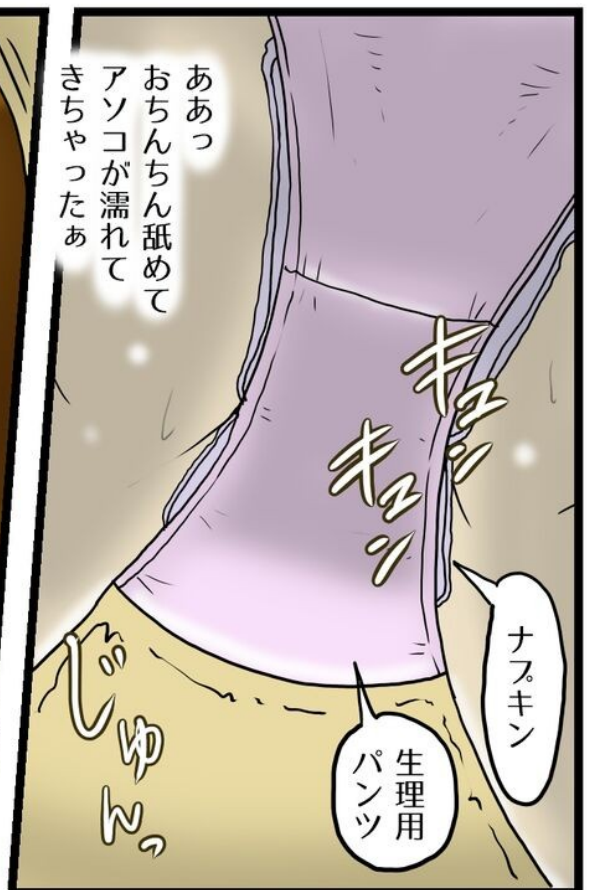
あつやばいっ
これって
キスしちやってない？

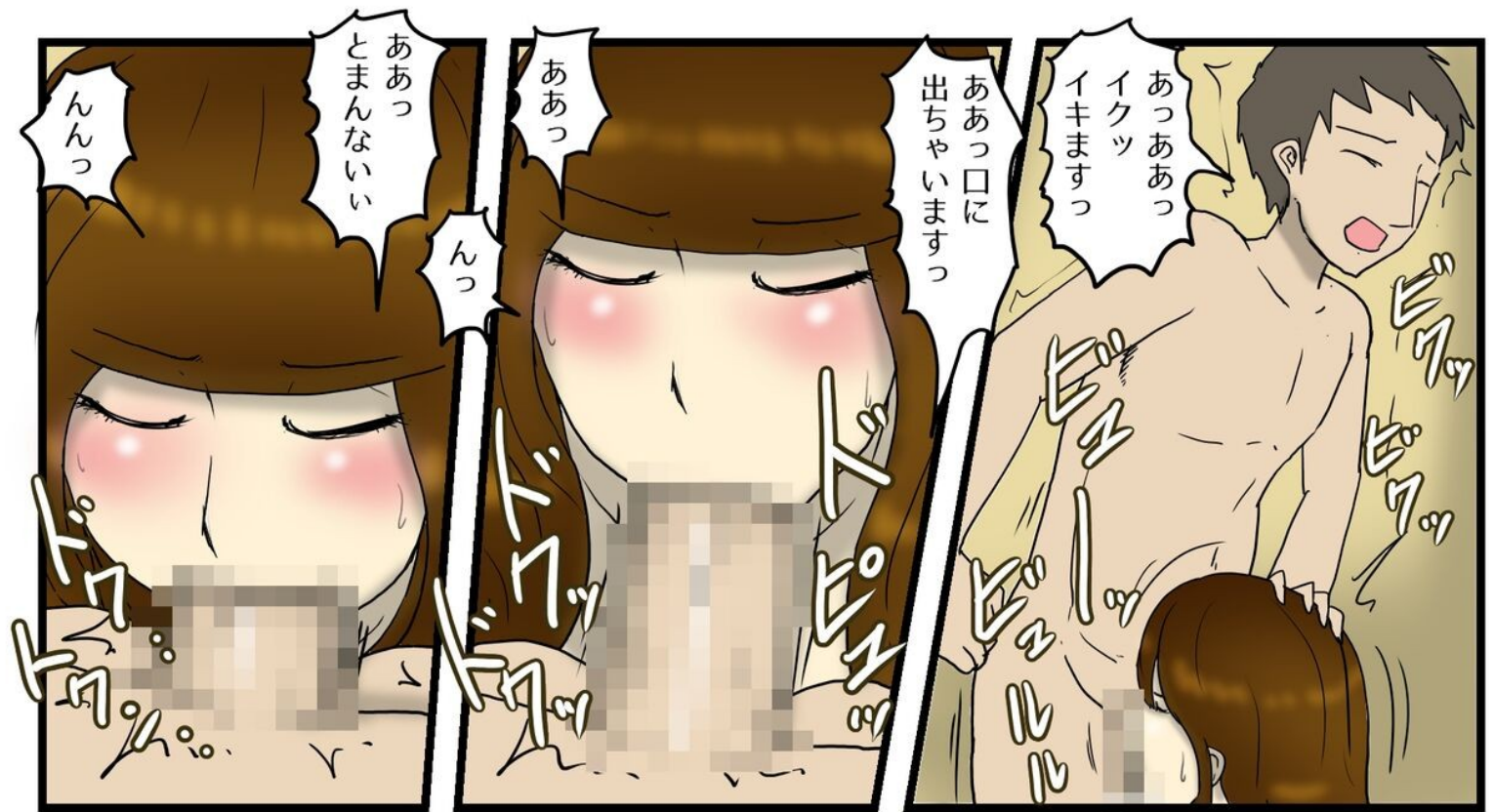
ただの
男と女として
体を求め合うように
なるまでそれほど
時間はかからなかった

ああっ
どうしよう
思わず
キスしちやった











そのころ
嫁の実家では
こんなやりとりが...

うーん
やはり
だめじゃなあ

しょうがないわ
気になさらないでね

マサオくんが
来るのは
明日だったか？

お前には
無理をさせて
すまん...

いいんですよ
これも石野家の
ためですから

フ
ル

ア
ア
ア

サナエにも
我慢をさせて
申し訳ないなあ

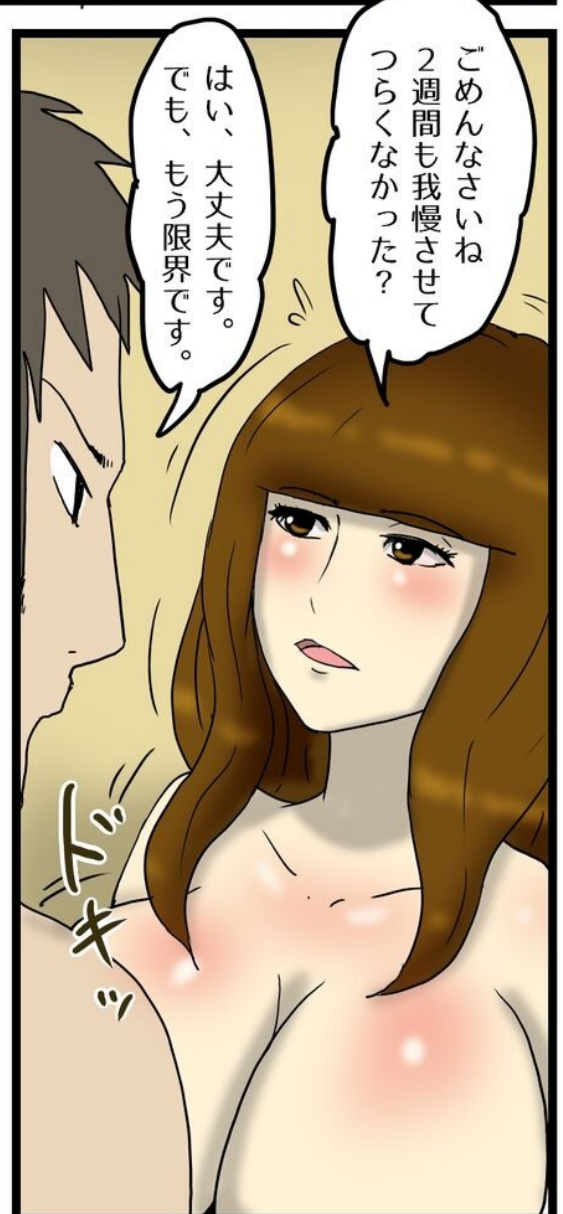
いまさらじゃが
お前がどうしても
いやだったら
言ってくれ

大丈夫ですよ
石野家のため
しっかりお役目を
果たします。

フ
ル
ギ
ツ

ア
シ

フ
ル



そして俺たちは
いつもの客用寝室で
激しく、濃密に
互いの体を求め合った

お義母さん
キスしても
いいですか？

そんなこと
聞かないで
今日はなんでも
あなたの好きに
していいわ

お義母さんの
気持ちどこにあるのか
そのときはもう
どうでもよくなっていた...

ただ、そこにいる女を
自分の種で孕ませる
そんな本能的欲望に
突き動かされるように
義母の体をむさぼっていた

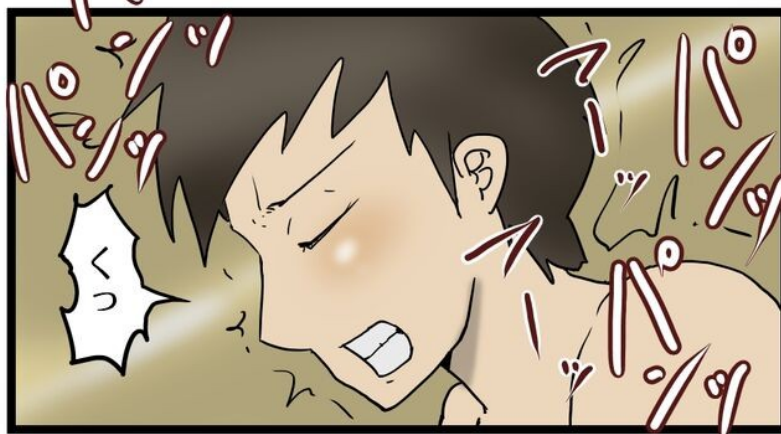
お義母さん
舐めますね...

あっ
うん...

ああっ
お義母さんの
硬くなったクリトリス
濡れたワレメ
なんて美味なんだ

ちよっ
マサオさん
だめっ

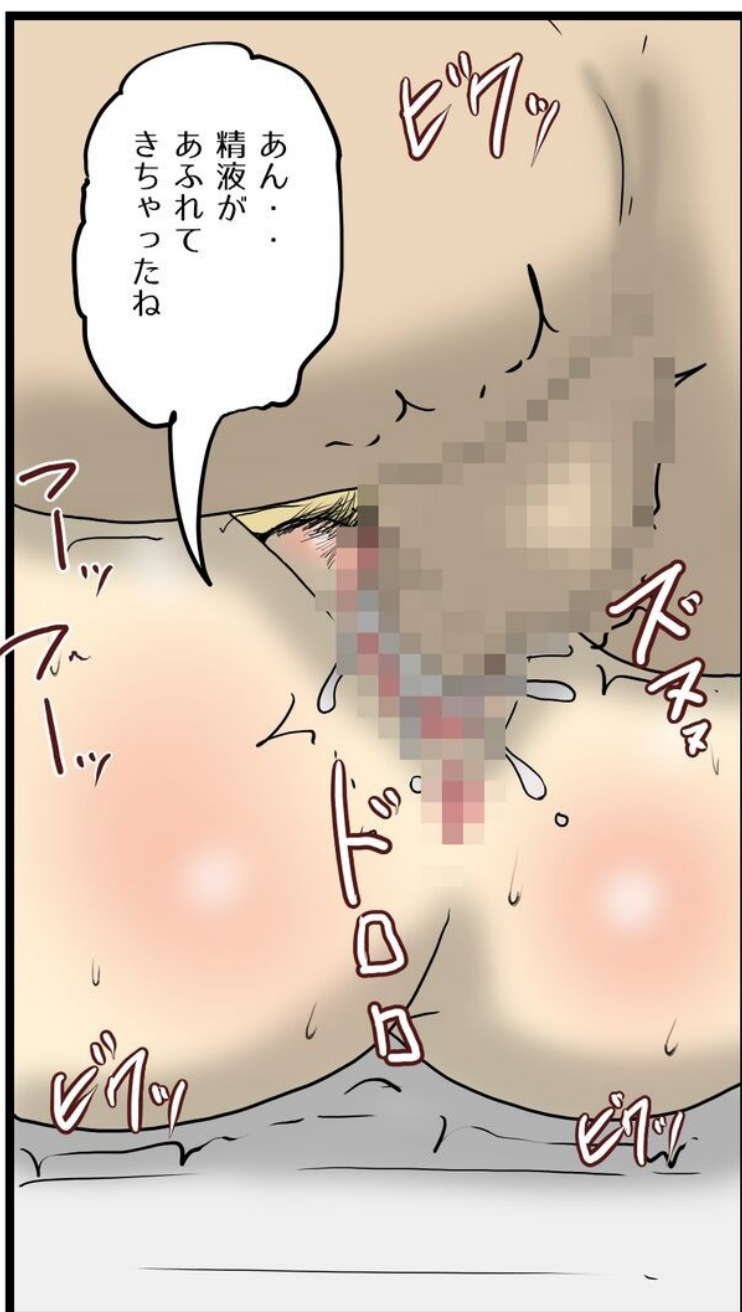
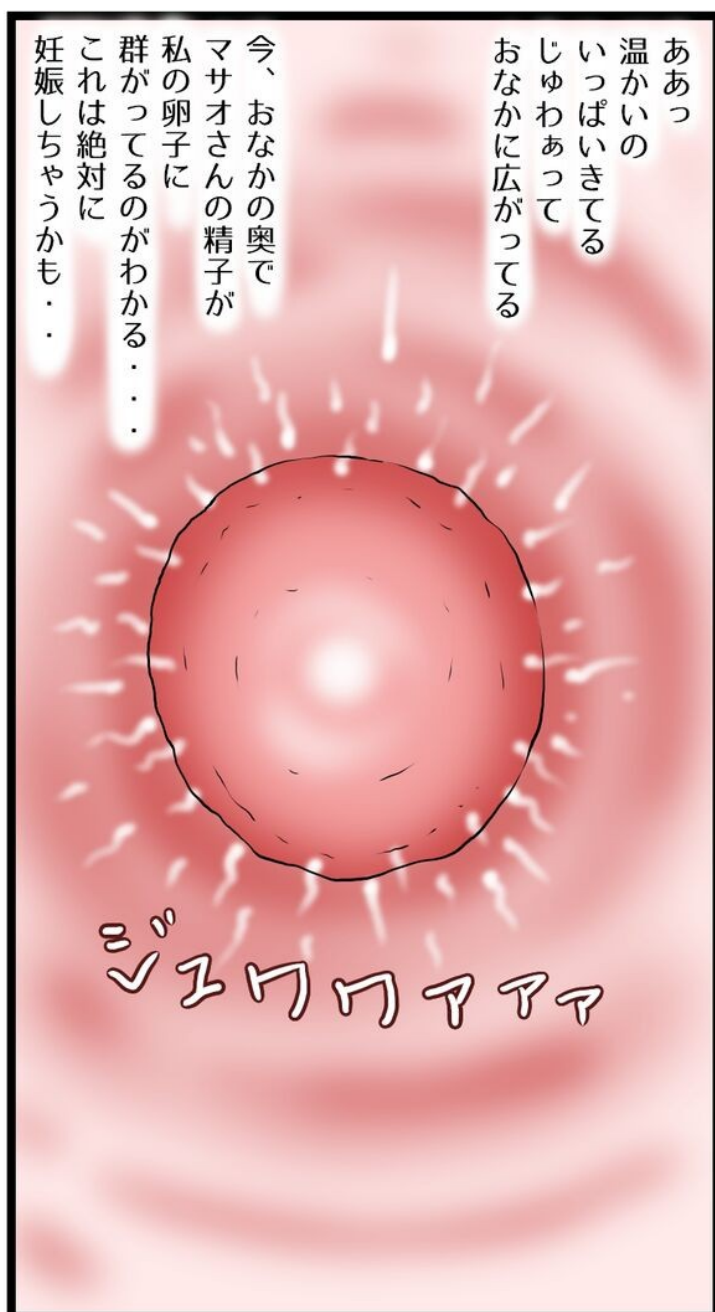
そんなに
激しくされたらあ
すぐイッちゃうよお

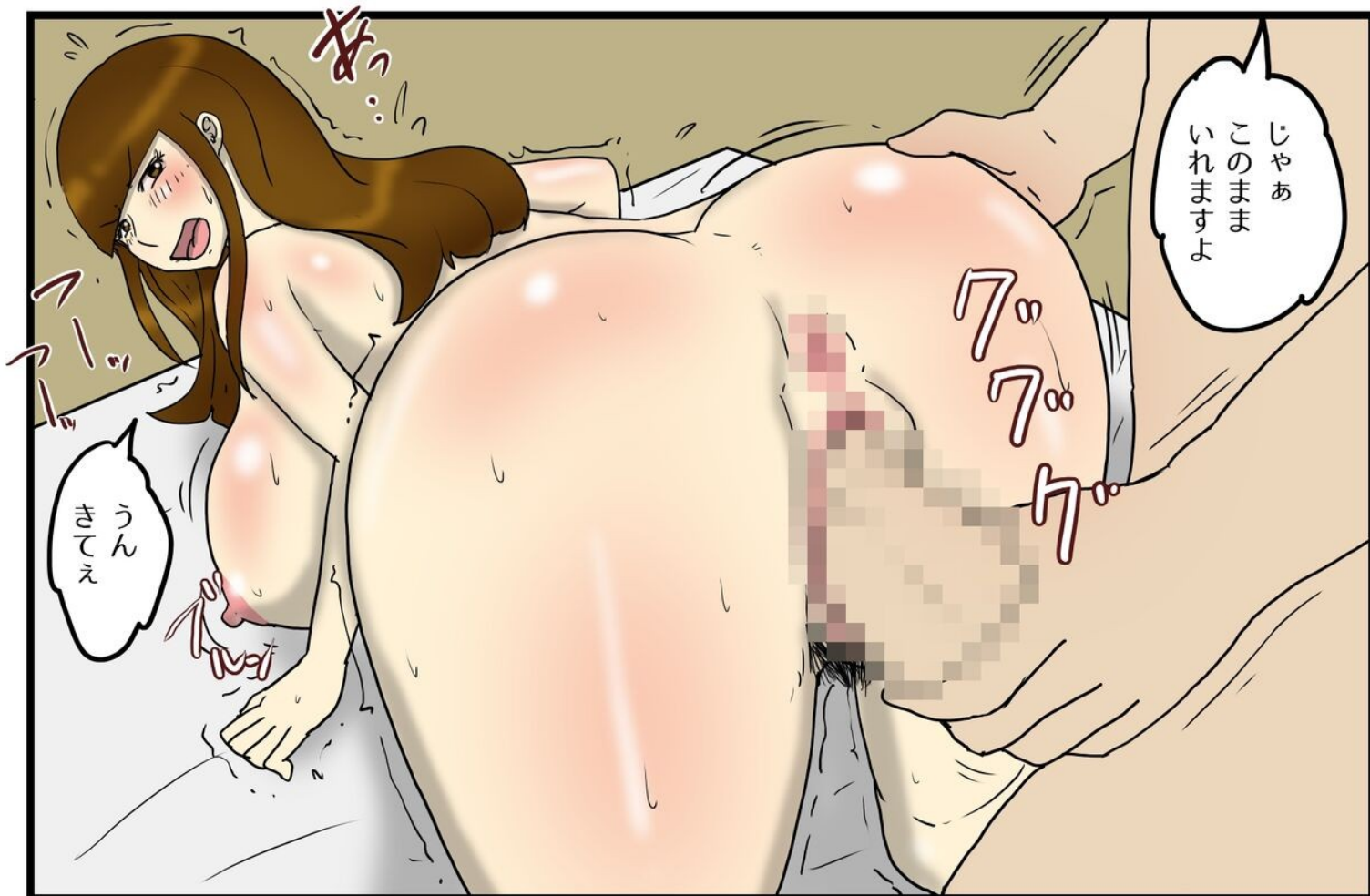




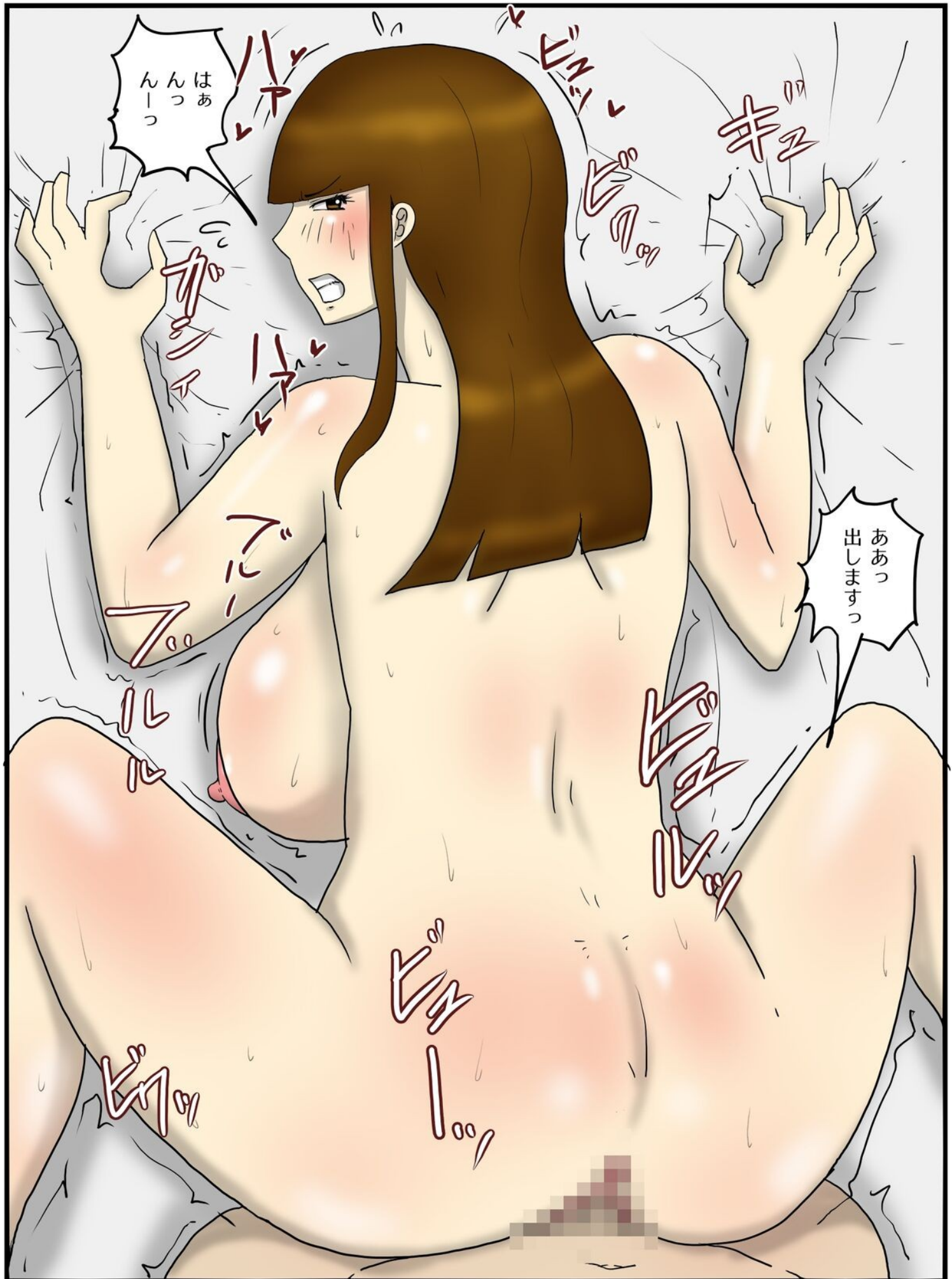




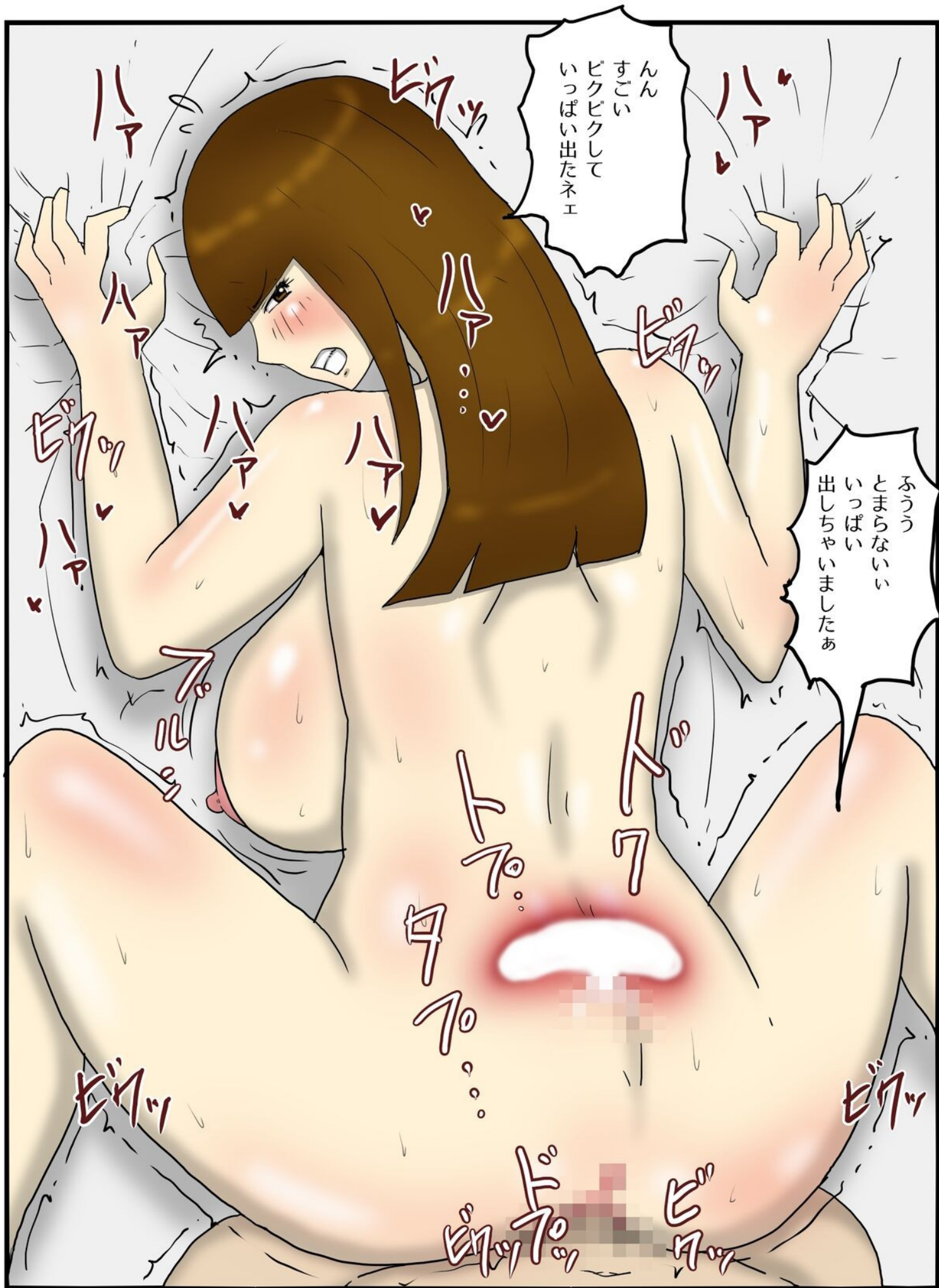












んん
すごい
ビクビクして
いっぱい出たネエ

ふうう
とまらないい
いっぱい
出しちゃいましたあ

だめえ
これだめえ
一番良いところがあ
擦れてるっ

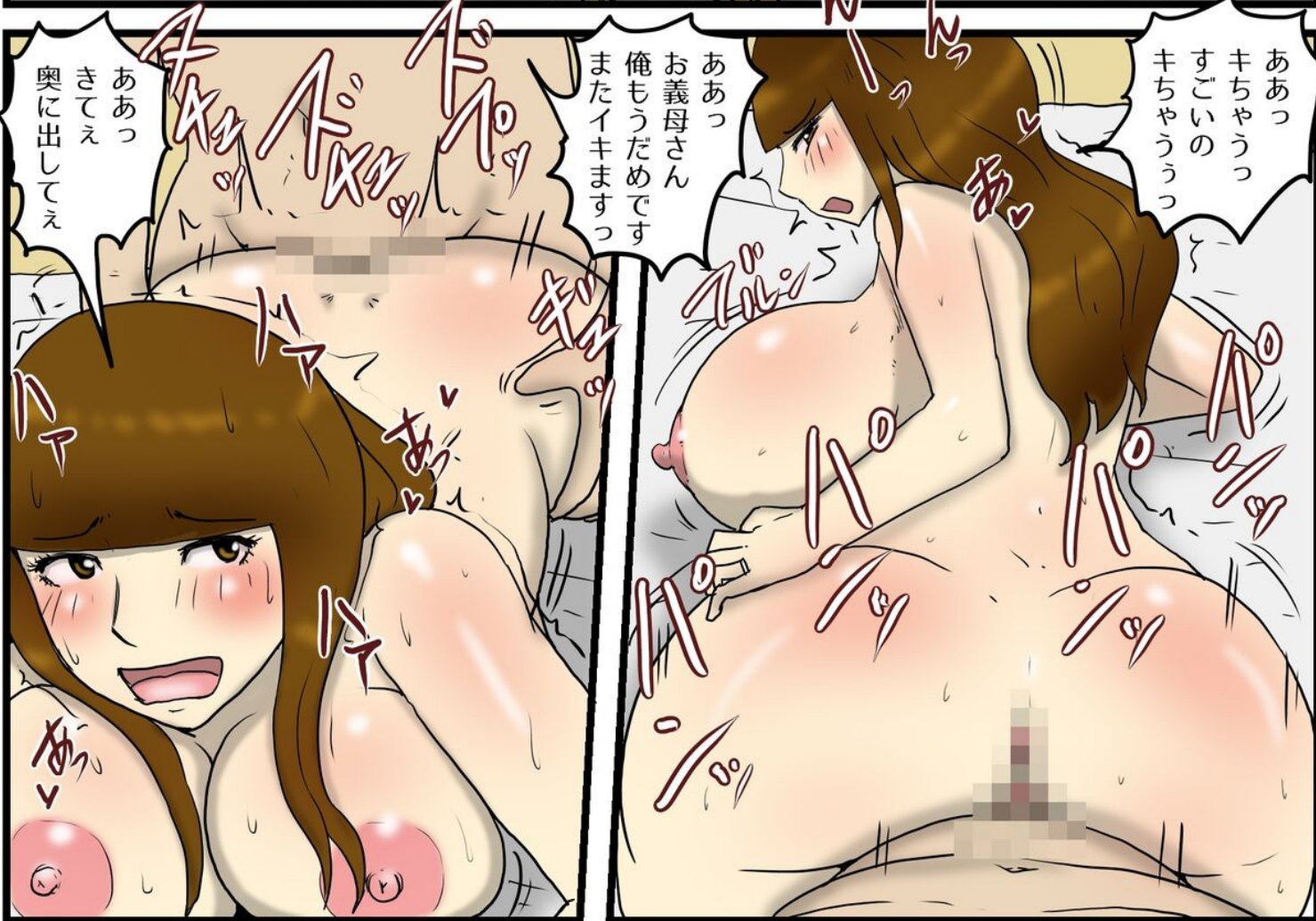
ああっ
頭が真っ白に
なってきたあ
何も考えられないよお

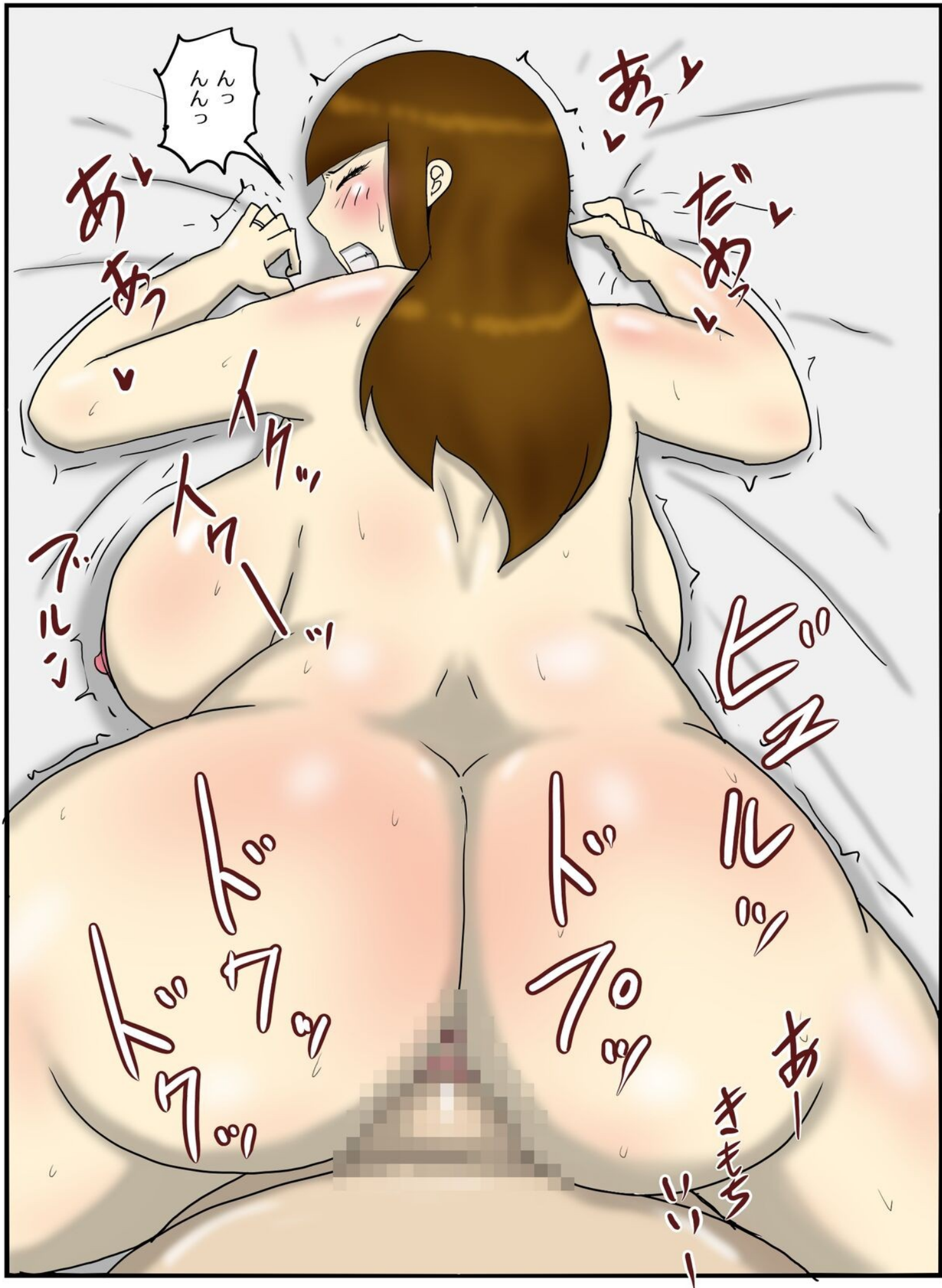


ああっ
キちゃうっ
すごいの
キちゃううっ

ああっ
お義母さん
俺もうだめです
またイキますっ

ああっ
きてえ
奥に出してえ













ほどなくして
お義母さんから
妊娠の報告があった

これで
俺とお義母さんとの
週末の情事は
終わりを迎えた・・

かに見えた・・・

いやあ
正夫くん
ありがとう
君のおかげで
我が家も安泰だ
君のご両親にも
よろしく言って
おいてくれ

とりあえず、
出産までは
わしらに任せてくれ
無事に産まれたら
君たち夫婦に
預けたいと思うとる

そこで相談なんじゃが
わしらと一緒に住まんか？
子育てするなら
広い家のほうが良いし
世話をする人間も
多いほうが何かと
都合が良いじゃろう

確かにそのほうが
子育てもしやすいし
経済的にも
余裕が生まれる
俺は次男坊だし
実家の事を気にする
必要もない

さなえが良いなら
僕は問題ありません。

それに、お義母さんと
今まで以上に同じ空間にいられる
それだけで俺にはうれしかった

その後すぐ俺たち夫婦は
嫁の実家に引っ越した

そして、義母の態度は
最後にセックスした夜を境に
嫁の母親のものに戻っていた
俺は割り切れない思いと
嫁では満たされない
性的欲求に悶々としていた

こっちよ

サナエは産まれてくる
赤ん坊の準備に夢中で
俺とお義母さんの
微妙に気まずい感じには
気づかないようだった

義父はもともと
豪快な人なので、
俺の密かな悩みなど
知るはずもないだろう・

これねえ
買っちゃった

いーねー

なにより俺を悩ませたのは
義母の態度だった
嫁の母親として振舞うなか
日になんども目が合い
そのたび、押し倒したい
衝動に駆られてしまう。

どうしたの？

ムッ

タコ

良妻賢母の見本のような
美しき義母フミが見せた
欲望のままに乱れる姿・
それを思い出して
自慰をしてしまうほどに
俺は義母への思いを
募らせていた・

ああっ
お義母さん

ビーン

トーン

ビーン

そして妊娠報告から
5ヶ月ほど経ち
義母の下腹部が
大分大きく目立つようにな
ったある夜

1時間以上長湯する
妻がいない隙に
自慰行為をしようとした
俺の前に突然
義母が現れたのだった

あの……
す……
いいかな？

え？
お義母さん？
どうしてここに？

ごめんなさい
静かにしてね
さなえがおふろに
入っている間に
少しお話ししかしら？

はい……
もちろんです。

あなたと最後に
したのはもう5ヶ月も
前なのね……

あれからずっと
あなたを忘れようとして
母親に戻ろうと
していたんだけど……

お腹の子が4ヶ月になって
安定期に入ったら
どうしてもあなたとのことを
思い出してしまって
夜も眠れないのよ……

あなたが良かったら
なんだけど……
あの続きがしたいの
あの日私も体力が尽きて
それきりになっちゃったけど
本当はもっといっぱい
したかったのよ……

おアッ

おアッ

安定期に入ったとはいえ
激しくとか、長い時間は
できないけど・・・
でも、もう我慢できないの

さなえがお風呂に入ってる
この1時間だけ
二人の時間を作って
ほしいの？
ダメかな？

俺の答えは決まっていた

義母を抱きしめると
最初は優しくキスを交わした
そして、すぐにこみ上げてくる
欲望のまま深く舌を絡ませた

ねえ
今日は私が上にな
って良いかな？
あんまり激しい動き
はできないけど

あなたのオチンチン
私のペースで
ゆっくり味わいたいの

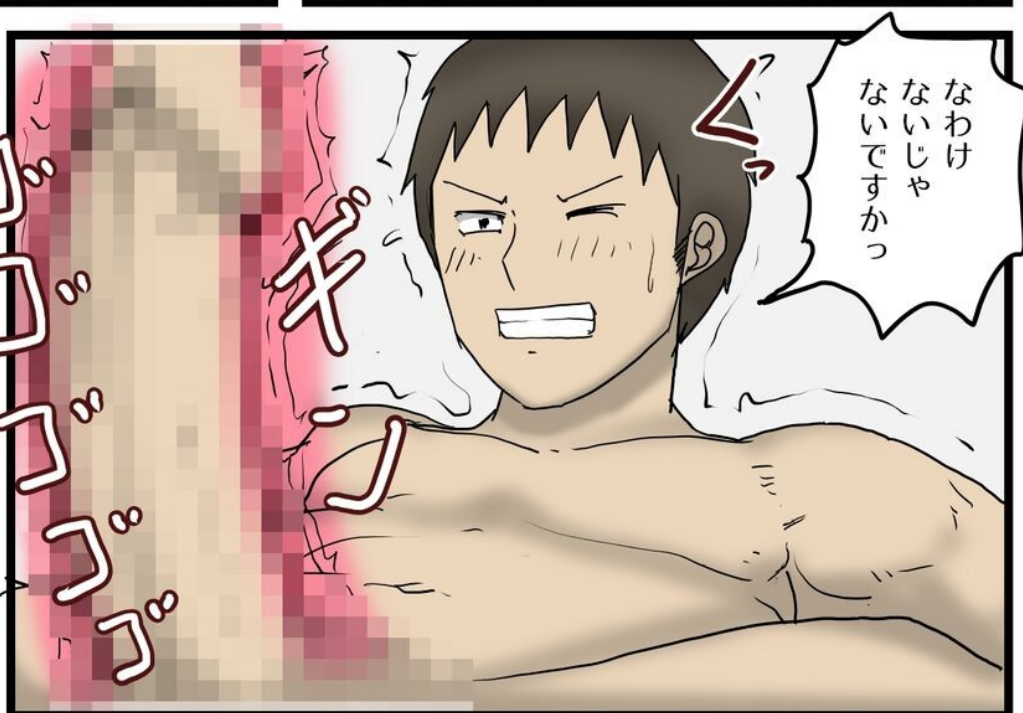
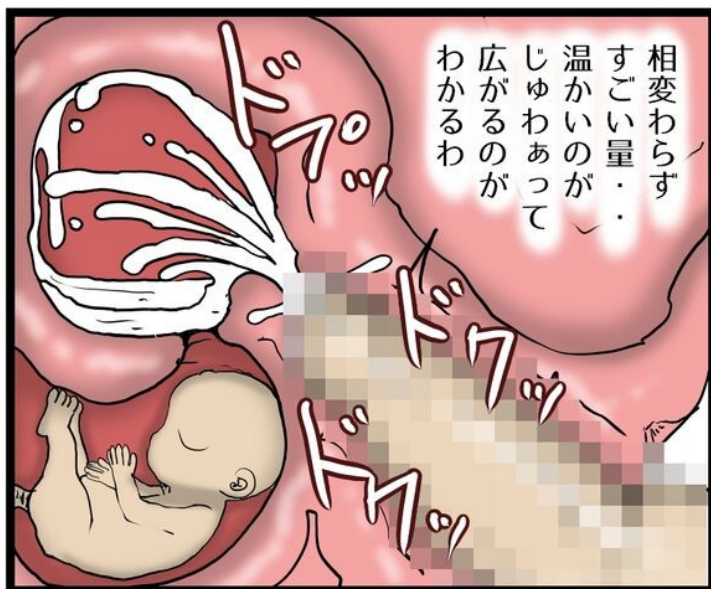
逆にいいんですか？
俺、我慢できなくて
すぐイっちゃうと思います。

いいよお
何度でもイっていいから
さなえが戻ってくるまで
ずっと抜かないでいてね

俺がリードしようとする
いつも受身だった義母が
馬乗りになってきた

のし。。

ギョ





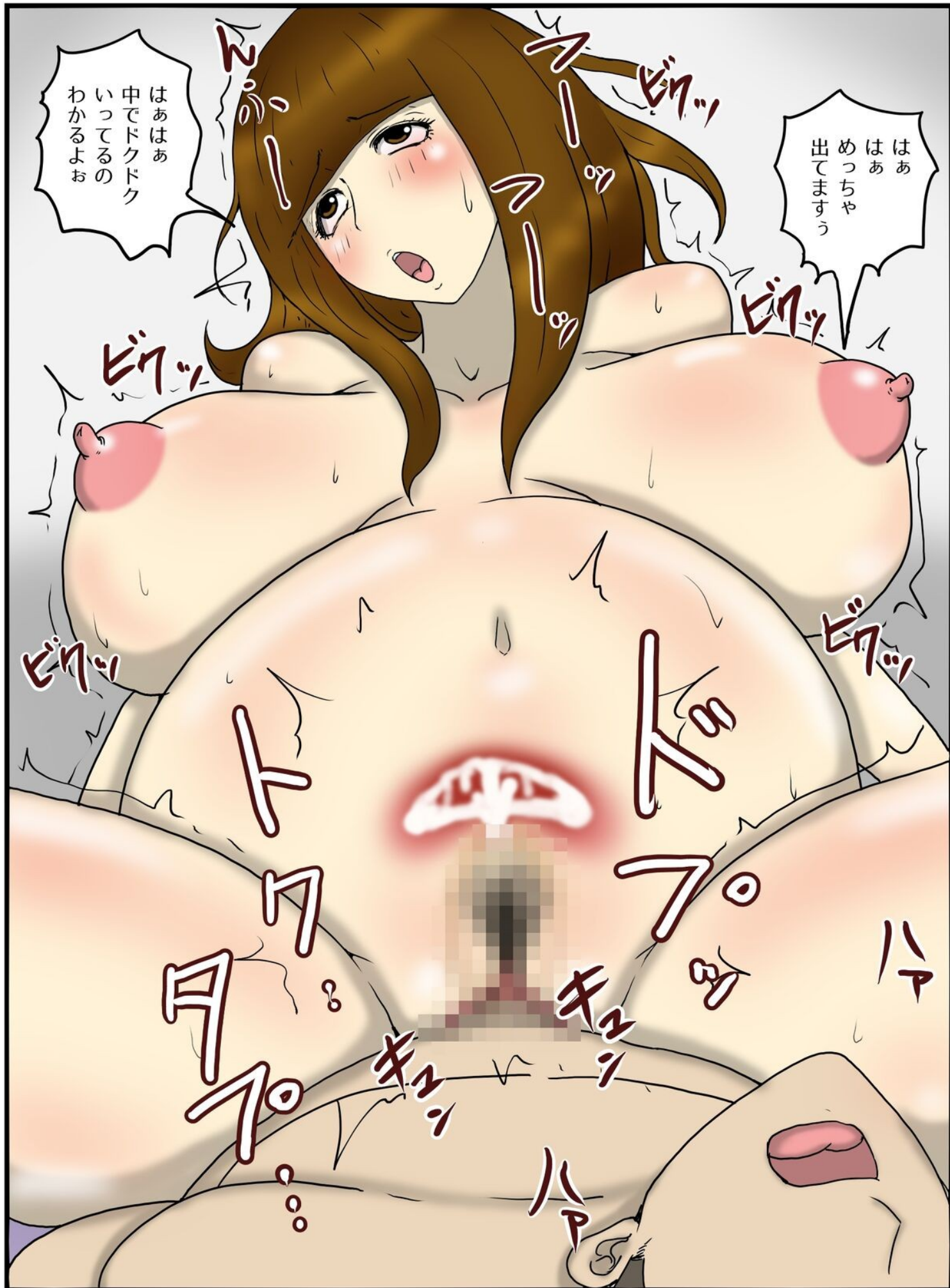


あつ
私も
イキそうよ

ああつ
またイッちやいますっ

んっ
一緒に
イコッ





はあ
はあ
めっちゃ
出てますう

はあはあ
中でドクドク
いってるの
わかるよお



ああっ
こんなエッチな
お義母さん見てたら
じっとなんて
してられませんよお

ああっ
だめーっ
気持ち良いよー



あんまり
激しくしないでえ

ああっ
感じすぎちゃって
だめだからあ



お義母さんっ
僕っイキますっ

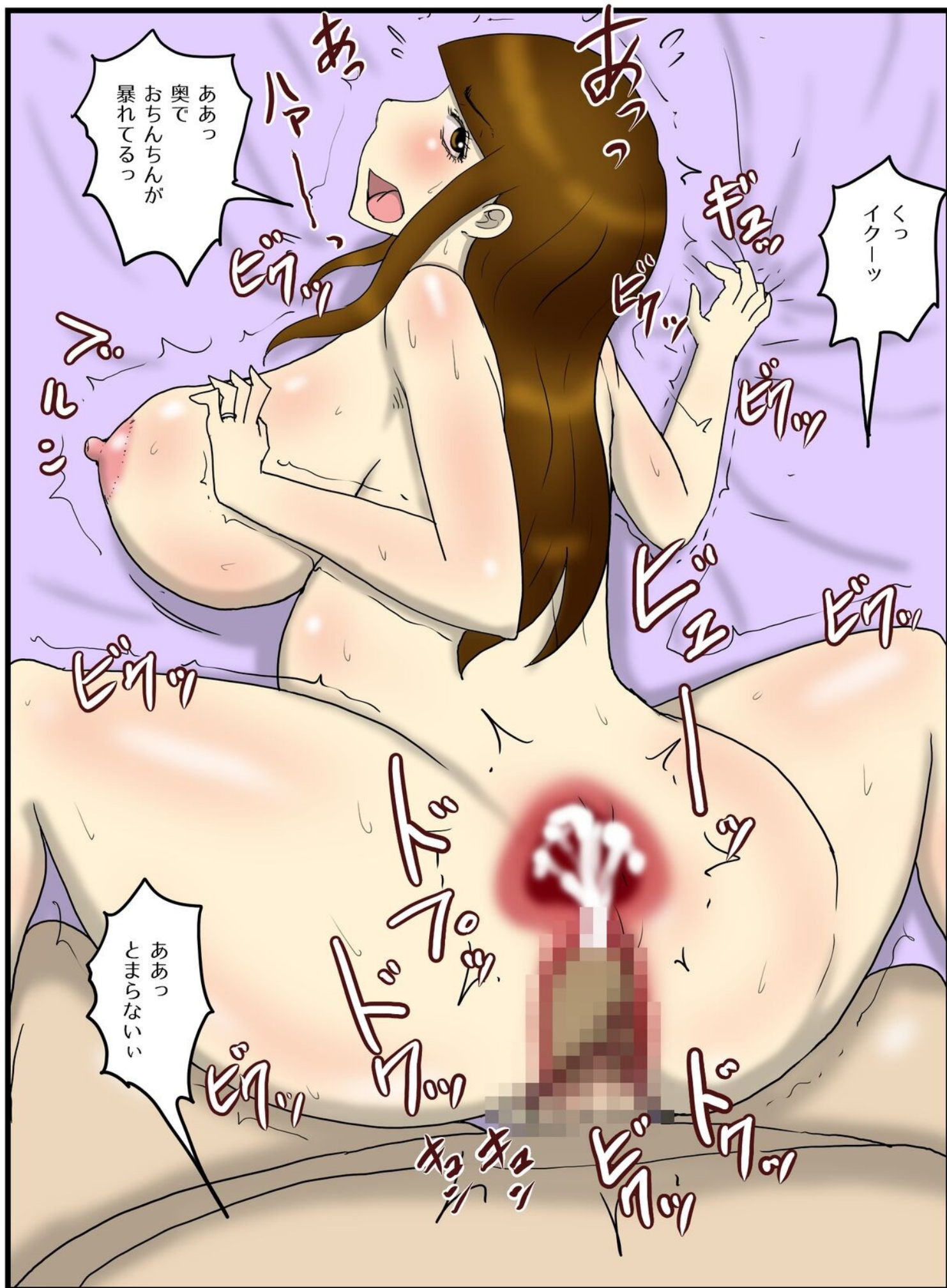
くうっ
やっぱり
我慢できないっ
気持ち良すぎるっ

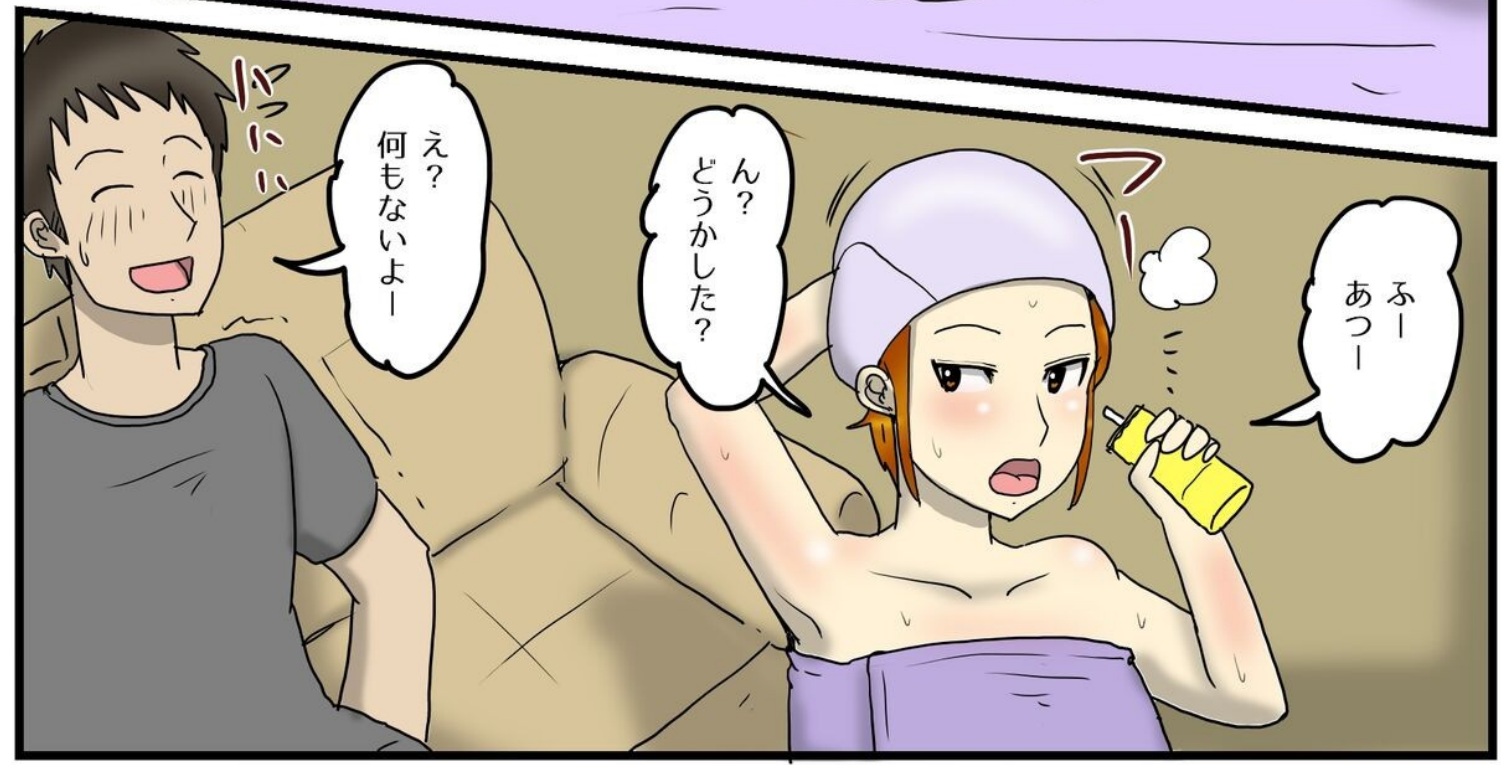
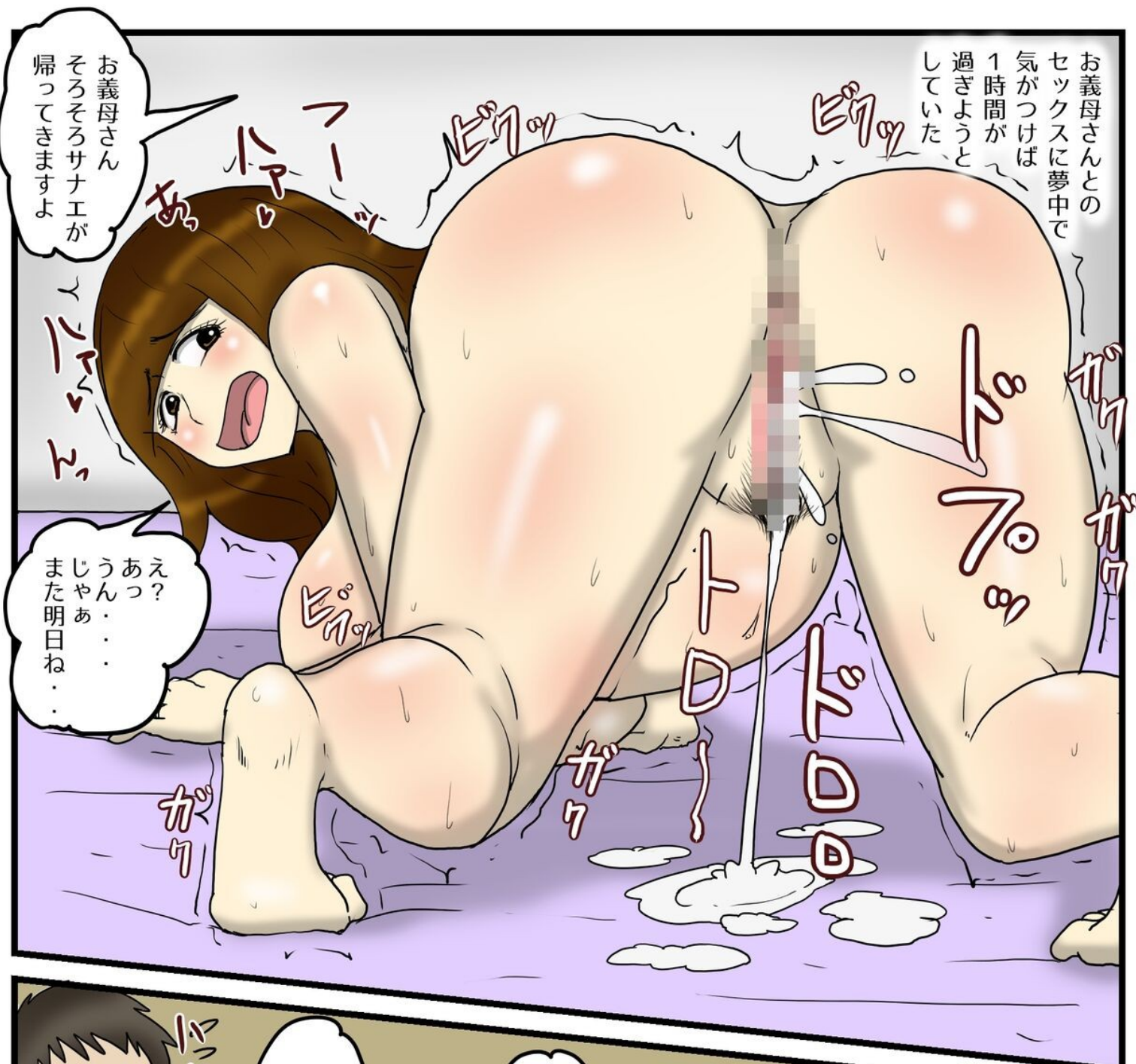
いいよお
中にきてえ



ああっ
妊婦マンコ
フワトロすぎて
最高だー







こうして
俺と義母との関係は
出産前後も続いた



そして、義母が無事出産し
妻サナエが育児に忙しくなると
その関係はさらに濃密になり



二人は時間を見つけては
隠れてセックスするようになった



そんな中、2人目の子作りを
することになっていくのだが
その話はまた今度したいと思う。

おわり